

時の動き

都議選後の政治情勢と流れについて

三鷹市議会議員 嶋崎 英治



都フア躍進 自民後退

野党共闘への期待高まる

都議会議員選挙の結果は、安倍内閣（アプナイカク）の壊憲政治と「モリカケ問題」に見られる政治の私物化は、安倍首相への国政批判に留まることなく、都議選に反映した。秋葉原駅前の自民党候補者の演説会で安倍首相は怒りのコールをあげ、主権者を指さし「こんな人たちに皆さん私たちは負けるわけにはいかない」と絶叫してしまつた。主権者の現実を、己を映し出してくれる超大型の姿見であることを忘れてしまったのであろう。

余談になるが2003年カリフォルニア州知事選挙に立候補したアーノルド・シュワルツェネンガー氏は選挙演説中に、聴衆に生卵を投げつけられが、彼は顔色一つ変えずに「ベーコンも一緒にくれよ」と返したエピソードがある。答弁席から質問議員にヤジを飛ばすどこかの国の首相とは器の大きさが違う。

日常の議員と市民の

共同行動が生んだ都議候補

千代田区の須田かずお、小金井市の漢人明子、北区の曾根肇候補は、不十

分ながらも野党共闘を追求しながら選挙戦が進められた。福田光一北区議会議員は、「6/26から潮目が変わった、宣伝カーに1日4時間以上乗り、野党共闘を前進させるために曾根候補を応援します」と力説し、共産党も、自由党、新社会党など野党が全力で応援していることを前面に出してアピールした。その結果、曾根候補は、30374票を得て自民党現職に1239票差をつけて、3位当選（1減されて定数3）を果たした。区民は野党共闘を切望している」と明るく語った。



都議会議員選挙、マイクを握る漢人明子候補

「都ファブーム」に惜敗した

小金井

残念なのは、小金井市（定数1）の漢人明子候補である。多くの小金井市議会議員が応援、菅直人衆議院議員や元国会議員や元都議会議員が個人的に応援、新社会党、緑の党も応援して闘われた。小金井市を超えた無所属、超

党派の女性自治体議員も全力で応援した。漢人候補は1万3531票を得たが、2503票差で、都民ファースト（以下、「都ファ」）の落下傘候補に惜敗した。野党の共同候補が実現していれば、1人区で市民派が都ファを破り、当選という快挙にはなったに違いない。

都ファの正体やがて露呈

「小池ブーム」のもと、現職の自民党、民進党都議が、所属政党を飛び出し、都ファに鞍替えした。「政策は二の次三の次的都ファであればOK」的な所詮はブームで当選したのである。小池都政は築地の移転問題、2020東京五輪と収束しない東京電力福島原発大惨事問題、保育所持機児童ゼロ化、2025年問題を抱えた高齢者福祉、保健所やごみ処理、小児病院など取り残されている「三多摩格差問題」等々重要課題が山積している。都ファの代

表を野田数氏に替えたが、彼もまた、都議時代から名うての極右・壊憲論者である。都ファの政治路線が露呈し、投票した人の望む都政像とかい離する日は必ず来る。

共同候補擁立が自民党壊憲政治を倒す原動力・展望に

来るべき衆議院選挙において、東京でも野党の共同候補擁立の努力が重ねられている。自民党壊憲政治を止めようとする政党が、己の身を捨ててでも共同候補擁立に全力をあげる真剣な姿が見えたとき、人々は自民党でもない、都ファでも民進党でもない「受け皿」として投票してくれるに違いない。

2016年参議院選挙の共同候補の成果、仙台市長選における野党共闘による郡和子候補の勝利は、今後の展望を切り開く展望としたい。

（しまさき えいじ）